

## 松ヶ崎小学校 おねったん・半成人式



1月9日、松ヶ崎地区公民館で、おねったん（鬼火焚き）と半成人式が行われました。これは、児童たちの無病息災を願うとともに半成人を迎えた児童を祝福する目的で子ども育成会が企画したものです。当日は、大中野地区の星原さんが1年かけて集めた木の土台に火をつけて、燃えさかる炎に無病息災を願いました。半成人を迎えた清水謙信さん（4年）は「将来、宇宙飛行士になるために勉強、運動ともに頑張ります」と力強く話しました。その後、児童たちがついた餅のもらったぜんざいをみんなで頂きました。

## 垂水中央中男子ソフトテニス部 九州大会準優勝・全国大会出場



1月5日、第36回九州ジュニア選抜インドアソフトテニス大会（団体の部）で準優勝の成績を収めた垂水中央中学校男子ソフトテニス部の部員が市長室を訪れました。今回の大会には、11月に行われた県大会で準優勝を収め、県代表として出場しました。肝付翔星主将は「自分たちのプレーが通用するか不安でしたが、支えてくれている保護者に感謝しながらプレーしました。とても嬉しいです。」と話しました。同部は3月に三重県で開催される全国大会に出場します。今後ますますのご活躍を期待します。

## 令和4年垂水校区七草祭



1月7日、垂水市市民館で、令和4年垂水校区合同七草祭が開催されました。これは、7歳を迎えられたことを喜び、これからの成長を祈願する目的で垂水校区振興会連絡協議会、垂水地区社会福祉協議会、垂水地区公民館が実施したものです。『七草祝い』は江戸時代から続く、鹿児島島の伝統行事です。昔は、医療が発達していなかったため、幼くして亡くなる子どもも多く、7歳を迎えることができたことを盛大にお祝いしていたとされています。当日は、数え歳で7歳になる子どもたち48人とその保護者が出席しました。子どもたちは、「着物を着れて嬉しいです」「勉強も運動も頑張りたいです」と話しました。会場は、華やかな紋付袴、着物を着た子どもたちの笑顔で、とても明るく希望に満ちあふれていました。これからも、素直にまっすぐ、元気に成長することを願います。

12月30日から新城地区公民館で、新城地区の青年グループ「新城の風」が中心となって作成したアマビエのイルミネーションが飾られています。今回は、コロナ禍の暗く沈みがちな雰囲気、春のような明るい雰囲気にするために、アマビエに「春を呼べ」と願いを込めて作成されました。また、新城小学校が2月に迎える、創立150周年を祝うイルミネーションも装飾されています。国道220号を通る際に、ぜひご覧になってみてはいかがでしょうか。



春を呼べ  
アマビエに願いを

12月27日、新城地区で正月餅のふるまいがありました。これは「高齢になって、正月用の餅がつけない」という地元の方々の声を聞き、おたけどんの郷加工グループ等が企画したものです。当日は新城地区の80歳以上の高齢者約210人に正月餅をふるまいました。山下み子さんと市野美里子さんは「地元の皆さんに支えられていることを改めて実感した1年でした。感謝の気持ちが伝わり、喜んでもらえる嬉しです」と話しました。



新城地区の高齢者へ  
正月餅のふるまい